

前期学校評価の集計

令和7年7月実施

7月に行った教育活動アンケートにご協力いただきありがとうございました。職員、児童、保護者の回答を集計し、結果を踏まえた成果や課題、及び学校運営協議会における意見交換の概要をまとめました。これらをふまえ、2学期以降よりよい西小学校をつくっていきたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【下の表の見方】 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

※表中の数字は、AとBの百分率の合計

関連	評価項目	職員	児童	保護者	総合
学校教育目標	児童は、学校に来るのを楽しみにしている。	100	94	93	95
心づくり	児童は、進んであいさつをしている。	100	94	76	90
	児童は、場に応じた言葉づかいができる。	96	95	74	88
学び づくり	児童は、漢字や計算などの基礎的な学力がついた。	96	94	73	88
	児童は、家庭学習が習慣化されている。	96	94	94	95
	児童は、AIドリルを活用し、主体的に家庭学習に取り組んでいる。	100	91		95
仲間 づくり	児童は、仲間と協力して活動できる。	96	99	88	94
	児童は、ペア活動で他の学年の児童と関わっている。	100	96		98
健康 づくり	児童は、運動に楽しく参加している。	100	97	91	96
	児童は、給食や食育指導により苦手なものでも食べようと/or>ている。	100	93		96

【学校教育目標について】

学校教育目標と関連する項目として「学校に来るのが楽しい」の評価では、職員、児童、保護者とも高い評価となっています。今年度の目標値は、児童95%です。この目標を達成するために、子供たちの興味・関心のある教材を使った授業、ICTを効果的に活用した授業、校外学習や地域学習など、魅力ある授業づくりをしていきます。

【学校生活に関すること】

「あいさつ」の項目では、保護者の評価が低めです。6月からのにこにこステージでは、「あいさつ革命」を行いました。相手の目を見る、〇〇さん、〇〇先生をつけてあいさつをする、という取組です。学校内では、効果が少しずつ現れてきています。引き続き声かけを行っていきます。ご家庭でも、話題にしていただけるとうれしいです。

「言葉づかい」の項目では、授業の中で「さん付け」や「丁寧語で話す」ように指導しています。多くの子が休み時間との違いを意識して、言葉づかいを変えることができています。ただ、学校生活の中で、友達を傷つけてしまうような言葉がないわけではありません。今後、そういったところにアプローチしていきたいと思います。

【学習に関すること】

「基礎学力の定着」の項目では、保護者の評価が低めです。しかし、「家庭学習が習慣化されている」という項目では、職員・児童・保護者ともに高評価となっています。昨年度より3年生以上でAIドリルを使った算数の家庭学習に取り組んでおり、習慣化が図られています。AIドリルの良さは、子供の学習データを継続的に貯蓄することができ、それをもとに最適な学習を子供たちに提供することができます。その子にあった問題に取り組むことで意欲を高め、基礎的な学力がつくように支援していきます。

～8月23日実施「第2回西小学校運営協議会」より～

「地域交流室」について

昇降口に新たに設置された「地域交流室」の活用方法について検討しました。地域の人的・物的資源と協働しながら、子供たちの多様な体験や交流の場を創ることを目的としています。開催時期や内容については、今後話し合いながら、決めていきます。

9月・10月の行事予定については、紙面の関係上マーティルにてお知らせします。詳しくは、学年便り等でご確認ください。



地域交流室